

4 / 25 (木) の発表



資料 3

報道発表資料の配付日時 4月25日(木) 11時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業(宗谷・稚内区域)の実施結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>航空自衛隊稚内分屯基地に隣接した国有林において、令和5年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業を実施しましたのでお知らせします。(詳細は別添のとおり。)</p> <p>○ 実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捕獲頭数 35頭(目標50頭)</li> <li>・ 捕獲内訳 オス 5頭 メス 30頭</li> </ul>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	写真データについては提供可能ですので、必要な場合は、別途ご連絡をお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	なし
	同時レク		

担当 (連絡先)	宗谷総合振興局保健環境部 環境生活課長 渡部 学 TEL ダイヤルイン 0162-33-2919 自然環境係長 黒田 芳人 TEL ダイヤルイン 0162-33-2922		
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

令和 5 年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（宗谷・稚内区域）  
業務結果報告

1 事業の概要

(1) 受託者

北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム

(2) 契約期間

令和 5 年(2023 年)12 月 28 日 ~ 令和 6 年(2024 年) 3 月 27 日

(3) 実施場所

稚内市ヤムワッカナイ

航空自衛隊稚内分屯基地に隣接した国有林内

(4) 事業内容

餌の少ない冬季に給餌を行ってエゾシカをおびき寄せ、くくりわなを設置し、安全に配慮した効果な捕獲を実施

(5) 捕獲目標

50 頭

2 実施結果

(1) 捕獲頭数

35 頭

(2) 捕獲の内訳

オス 5 頭

メス 30 頭

### 3 検証結果

#### (1) 捕獲効率

捕獲は、50 基程度（42～48 基）のくくりわなを用いて実施。

2 月 5 日～3 月 23 日の 47 日間稼働し、35 頭のエゾシカを捕獲できた。

1 日当たりの捕獲数は、0.74 頭/日、

1 基のわなが 1 日当たり何頭捕獲できるかを示す捕獲効率は、0.017 頭/日となった。

#### (2) 給餌の誘引効果

捕獲場所にエゾシカを誘引するため、ヘイキューブ（牧草）及びビートパルプ（てんさいの残渣）を利用し誘引を行った。エゾシカは、ヘイキューブ（牧草）に嗜好性を示しているとみられた。

自動撮影カメラでの確認より、メスジカの群れに餌台の誘引餌が認識されるまで 10 日間程度、誘引効果を発揮するまでは、餌台の設置から 2 週間以上を要した。

#### (3) 捕獲方法の有効性

シカ道を狙ってわなを設置し、誘引餌も併用することで効果的に誘引・捕獲できたことから、実施場所での冬期間のエゾシカの捕獲方法として、くくりわなが有効であることが確認された。

ただし、冬期にくくりわなを使用する場合は、積雪や凍結などにより、動作不良を起こすことなどがあるため、気象状況に合わせ、再設置や位置変更など、こまめなメンテナンスが必要となる。

#### (4) 事業実施における課題・改善点

事業実施中の 2 月中旬や 3 月中旬に、気温上昇により雪が解け、エゾシカの群れが集まらず、餌の誘引効果が低下した時期があったため、事業期間を早期から設定し、予め誘引を行い、エゾシカが集まるようになった上で、捕獲を実施することや、天候や積雪状況等条件に応じて捕獲のタイミングを柔軟に設定できる期間を十分に設けることで、より効果的に事業が実施できると考えられる。

#### 4 連携機関

宗谷森林管理署、稚内市及び航空自衛隊稚内分屯基地並びに振興局の4者で連携し、事業を行った。

(役割) 宗谷森林管理署(入林及びわな設置の許可等)

稚内市(関係機関との調整)

航空自衛隊稚内分屯基地(敷地内立入やわな設置の許可等)

振興局(事前調査、調整会議の開催)

1



使用したくくりわな

2



わな設置の様子

3



誘引餌 〈左：ビートパルプ 右：ヘイキューブ〉

4



餌台に集まるエゾシカ

5



餌台にやってきた雄鹿

6



くくりわなにかかったエゾシカ